

第19回日本加速器学会総会

2021年8月11日
オンライン Zoom

式次第

1. 監事の承認
2. 会長報告
3. 広報・ウェブ幹事報告
4. 編集幹事報告
5. 庶務幹事報告
6. 行事幹事報告
7. 会計幹事報告

監事の承認(1/2)



定款第14条 会長、評議員および監事は細則に定めるところにより、正会員のなかから正会員により選出される。会長ならびに評議員は監事を兼ねることができない。

定款第27条（抜粋） 監事の任期は一期2年とし、連続して三期務めることはできない。

細則第9条 監事の選出は次の方法による。

1. 監事の定数は2名とする。
2. 監事は正会員のなかから評議員会により推薦され、総会において承認される。

2022年4月1日～2024年3月31日を任期とする監事2名について、評議員会から下記2名の推薦がなされましたので、承認を求めます。

肥後 壽泰

KEKにて、トリスタン500MHz常伝導空洞、KEKB電子陽電子入射器Sバンド加速管、Xバンド高電界加速管などの研究開発に従事。

加速器学会年会プログラム委員 2019～2021。

古坂 道弘

KEKにて、中性子散乱、J-PARCプロジェクトの全体計画推進、中性子施設建設。

北海道大学にて、小型電子加速器中性子源を用いた教育、研究に従事。退職後、産総研にて、電子加速器中性子施設建設、KEKのオープンイノベーション推進室アドバイザー。

第14回加速器学会年会、組織委員長・実行委員長。

監事の承認(2/2)



総会出席者が定足数を満たすことの確認、承認が必要な議題の表決は、Zoom ウェビナーの機能を用いて行うことが、第33回評議員会(2021年8月6日)にて承認されました。

肥後 壽泰、古坂 道弘の両氏が監事に就任することに「賛成する」方は、Zoom 画面下部から、「手を挙げる」をクリックして「賛成の意思表示」をしてください。



承認する方、手を挙げてください

会長報告(1/4)



「安全保障研究に対する日本加速器学会の対応」

(前言)

日本加速器学会では、2017年8月2日の総会議決をもって倫理綱領を制定した。この際、軍事技術を含む安全保障研究への対応については、学会内での議論が十分に行われていないことを理由として、倫理綱領に明文化することは見送られた。また、倫理綱領の制定と前後する2017年3月24日に日本学術会議が発出した「軍事的安全保障研究に関する声明」では、「学協会等において、それぞれの学術分野の性格に応じて、ガイドライン等を設定することも求められる。」の一文が示された。

日本加速器学会では、倫理綱領に含めなかった安全保障研究への対応を決定すべく、「日本加速器学会における軍事研究規制等に関するタスクフォース」の立ち上げ(2018年8月8日)にはじまり、二度にわたる会員アンケート(2019年11月17日、2020年12月15日)、意見募集(2020年8月3日)、第17回年会における特別セッション「加速器と安全保障研究」の開催(2021年9月3日)、パブリックコメント募集(2021年7月7日)を行ってきた。これらの活動を通じて、学会執行部、評議員と会員の間で議論を深め、ここに「安全保障研究に対する日本加速器学会の対応」を決定した(2021年8月6日評議員会)。

[次ページに続く](#)

会長報告(2/4)



(本文)

日本加速器学会では、定款にて学会の目的を示しており、加えて、倫理綱領では、学問の発展と社会公益に貢献するために会員が遵守すべき事項を列記している。これらは、学会の理念を明文化したものである。大量殺りく兵器に代表されるような、他者の生命を脅かし財産を毀損することを直接目的とする明白な軍事研究への積極的な関与が、学会の理念に反することは自明である。しかしながら、研究開発のうち、特に基礎研究の部分では、軍事研究と民生研究の区別が容易でない場合もあることから、学会の理念から逸脱する研究の範囲をあらかじめ定めることは困難である。そのため、学会における会員の活動が学会の理念に整合するか否かは、会員の自律的な判断に委ねることを基本とする^(注)。なお、学会における会員の活動が学会の理念に反するとの懸念が生じた場合は、倫理綱領の付記に則り評議員会が審議し裁定を行う。ただし、学会の理念との整合の如何は、研究費の種別、発表者や共著者の所属機関といった外形的な基準のみでは判断しない。

加速器科学に固有の事情を含め、科学技術と社会のつながり、科学技術が人類社会に及ぼした歴史上の功罪と将来に及ぼすであろう影響について広く学び、会員自身が考えを深める機会を持つことが、学会の理念を実現するために大切であり、学会は、そうした議論に資する視点と知見の共有に努める。

(注) 年会における研究発表、学会誌への投稿では、学会の理念を確認したうえで発表申込み、投稿を行う仕組みを設ける。

会長報告(3/4)

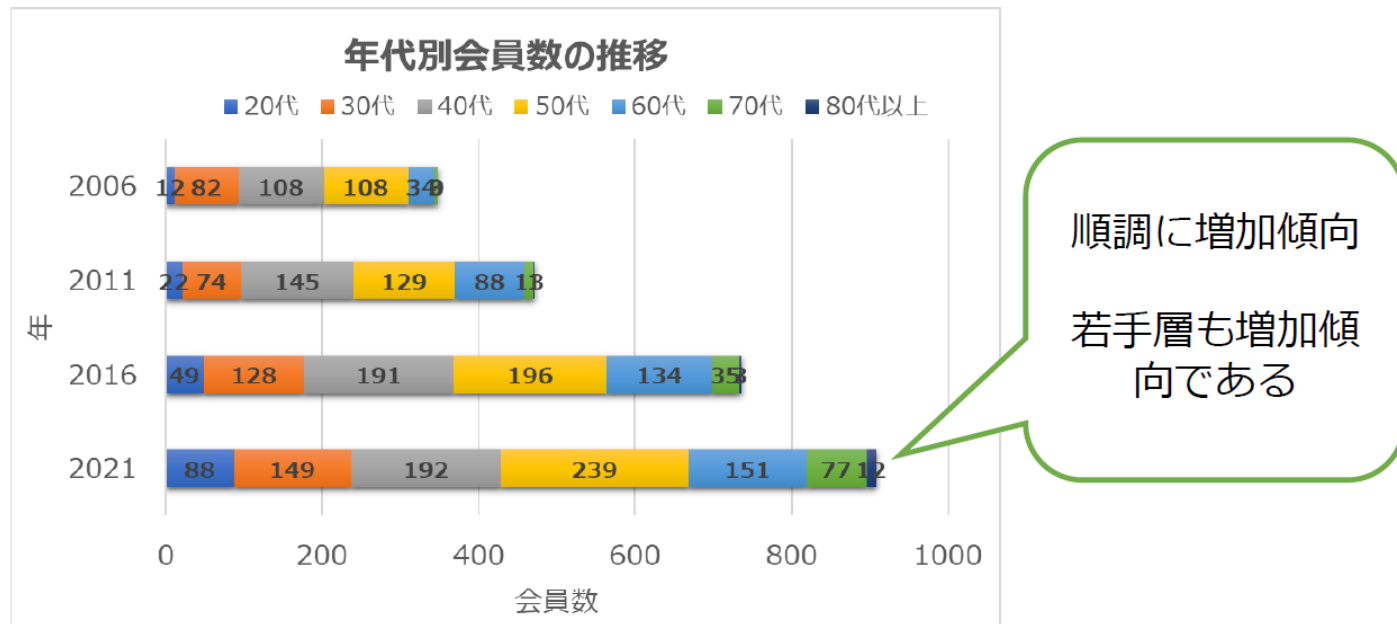


「若手人材育成・研究交流活性化」への取り組み

加速器学会を持続可能な団体として維持していくためには、新しい会員の入会、特に若手の研究者や学生の参加が重要である。

次世代を担う若手の人材育成として、学会内での若手の交流を行い、つながりを強くするだけでなく、広く関連分野との交流を促進し、加速器学会がより求心力を持つ団体として発展できるよう、若手人材育成および研究交流活性化に取り組むたい。

坂上和之評議員を中心に具体的な枠組みを検討している。



会長報告(4/4)



「男女共同参画社会」への取り組み

男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」(1999.7.16施行、男女共同参画社会基本法、第二条)

「国民は、職域、学校、地域、家庭その他の社会のあらゆる分野において、基本理念にのっとり、男女共同参画社会の形成に寄与するように努めなければならない。」(同第十条)

学会が果たすべき取り組み

男女の会員が均等に学会活動に参画し、学術的利益を享受できるよう努めなければならない。これは、すでに所属している会員への責務であると同時に、将来、加速器の研究を志す可能性のある人材に向けてのメッセージにもなる。

日本加速器学会、基礎データ(2021年8月4日現在)

正会員＝860名、うち女性32名。(女性の割合＝3.7%)

学生会員＝67名、うち女性4名。(女性の割合＝6.0%)

男女共同参画学協会連絡会
への入会申請を行いました。

広報ウェブ幹事報告(1/2)



広報ウェブ委員

広報幹事: 宮本篤(東芝エネルギーシステムズ(株))

田中俊成(日大)、菊澤信宏(原子力機構J-PARC)、佐藤政則(KEK)、
古川和朗(KEK)、柳田謙一(SPring-8)、紀井俊輝(京大)、永井良治(量研機構)

活動内容

○通常活動(学会ウェブページの運営)

- ・ 公募・国内外会議の情報を随時更新している。コロナ禍による会議等の中止や延期等はまだ続いているため、皆様からも情報をお寄せください
- ・ 加速器施設／大学等の情報もぜひお寄せください
- ・ レンタルサーバで利用しているメーリングリストに度々不具合が発生しているため、一部を他社サーバと併用中。抜本的な解決は検討中

○年会参加申込・発表登録システム・年会ホームページの運用

第18回年会もオンライン開催となったため、年会ホームページは事務局で運用し、参加申込・発表登録システム、(プロシーディングス編集システム)を学会サーバで運用

活動内容

○年会プロシーディングス編集作業

第18回年会プロシーディングス編集作業は、編集協力者を募集

- ・ 14名より協力の申し出があった
- ・ 編集作業説明会は開催せず、説明資料をメールで送付する
- ・ 編集作業を円滑に進めるための専用ウェブページで運用

○学会誌閲覧ページの運用

学会誌「加速器」18巻から学会ウェブ＋J-STAGEでの公開(併用)に移行
(詳細は編集幹事報告へ)

○オーラルヒストリー

- ・ 第1回分を公開、第2回は準備中(最終確認作業が遅れています)
- ・ アンケートを実施し感想を求めるとともに、編纂作業への協力者を募りたい

○今後の計画

マイページと学会誌・年会ページの認証統合を計画していたが、年会オンライン化と学会誌のJ-STAGEへの移行により、一時休止中
統合範囲については、再度検討中

編集幹事報告(1/5)



編集委員

編集委員長 柏木茂(東北大)

編集委員

伊藤正俊(東北大), 今尾浩士(理研, 2021年4月～), 大竹雄次(JASRI), 帯名崇(KEK), 加瀬昌之(理研, ～2021年4月), 川瀬啓悟(QST), 金正倫計(JAEA), 栗木雅夫(広島大), 設楽哲夫(KEK), 島田美帆(KEK), 末次祐介(KEK), 内藤富士雄(KEK), 中山光一(東芝エネルギーシステムズ), 保坂将人(名古屋大), 増田開(QST), 宮本篤(東芝エネルギーシステムズ), 依田哲彦(大阪大学), 涌井崇志(放医研)

編集幹事報告(2/5)



今後の発行予定(毎年、4回発行)

- 第18巻3号(2021.10.30) 原稿締切7.30
- 第18巻4号(2021. 1.30) 原稿締切10.20 特集号
- 第19巻1号(2022. 4.30) 原稿締切1.31
- 第19巻2号(2022. 7.30) 原稿締切4.30

学会誌での特集企画

*第12巻から、1月末に発行される第4号を特集号として学会誌を編成している

第12巻4号「広がる加速器の利用」

第13巻4号「広がる加速器の利用 中性子」

第14巻4号「国際リニアコライダー(ILC)計画と新しい科学プロジェクトのあり方」

第15巻4号「本格始動！ SuperKEKB 加速器」

第16巻4号「加速器と超伝導技術」

第17巻4号「大強度不安定核ビーム」

*2021年3月の日本物理学会年会でシンポジウムを開催
ビーム物理領域, 実験核物理領域
「大強度不安定核ビームが拓く新領域」

18巻4号での特集テーマ 「(仮)大強度ビームとハイパワー標的技術」



編集幹事報告(3/5)



■ J-STAGEに学会誌「加速器」の掲載がスタート(18巻1号から)

✓ 学会誌ページの「会員専用WEB閲覧Key入力」から以下のPW取得可能

- ・ 学会誌WEB閲覧用認証パスワード
- ・ J-STAGEを閲覧用、「購読者番号」「パスワード」

[<トップページへ戻る>](#)

バックナンバー目次

J-STAGE のアイコンのある巻号は、アイコンをクリックすると J-STAGE のページが開きます。J-STAGEの会員限定記事の閲覧に必要な「購読者番号」と「パスワード」は、本ページの「会員専用WEB閲覧key入力」によりメールでお知らせします。



J-STAGE Vol.18 No.1
2021年4月30日発行



J-STAGE Vol.18 No.2
2021年7月31日発行



ロゴをクリックすると
J-STAGEへ遷移



Vol.17 No.1
2020年4月30日発行



Vol.17 No.2
2020年7月31日発行



Vol.17 No.3
2020年10月31日発行



Vol.17 No.4
2021年1月31日発行

日本加速器学会 | <https://www.pasj.jp/kaishi/cgi-bin/jst> | 加速器

J-STAGE 資料・記事を探す J-STAGEについて ニュース&PR サポート サインイン カート JA

加速器 Online ISSN : 2436-1488 Print ISSN : 1349-3833

資料トップ 巻号一覧 この資料について

J-STAGE トップ / 加速器 / 巻号一覧

検索 このジャーナル内を検索する 検索 OR 閲覧 18 巻 2 号 ページ 閲覧 詳細検索

巻号一覧

最新号
選択された号の論文の12件中1~12を表示しています [メタデータをダウンロード](#) [すべての抄録を表示する](#)

巻頭言
18 巻 (2021)
2 号 p. 53-
1 号 p. 1-

スモールサイエンスとビッグサイエンス
北村 英男
2021 年 18 巻 2 号 p. 53
発行日: 2021/07/31
公開日: 2021/08/04
DOI <https://doi.org/10.5086/pasj.18.2.54>
ジャーナル 認証あり
PDF形式でダウンロード (291K)

解説
共振器型赤外自由電子レーザーの引き出し効率とその向上
金 房俊
2021 年 18 巻 2 号 p. 54-62
発行日: 2021/07/31
公開日: 2021/08/04
DOI <https://doi.org/10.5086/pasj.18.2.54>
ジャーナル フリー
抄録を表示する PDF形式でダウンロード (988K)

加速器施設廃止のための放射化の測定と評価
松村 宏, 梶本 和義, 吉田 剛, 豊田 勇弘, 中村 一, 三浦 太一

編集幹事報告(4/5)



■ 学会誌記事のダウンロード数 (2020.08.01 – 2021.07.31)

- 2018年8月から、会員は最新号から全ての記事が閲覧可能。非会員でも、出版から1年を過ぎた記事と1年未満の編集委員会推薦記事については閲覧を可能。

	DL 数	巻	号	分類	タイトル	主著者
1 (5)	3612	16	4	特集	超伝導入門	荻津透, 古屋貴章
2 (1)	3031	8	4	解説	真空中の放電現象	小林信一
3 (2)	1977	2	2	加速器と 社会	加速器と社会	萬代新一
4 (62)	972	3	4	話題	台北帝国大学と京都大学における初期の加速器開発と原子核物理学研究(前編)	竹腰秀邦
5 (59)	850	16	4	特集	実用超伝導材料開発の歴史と将来に向けての動向	淡路智
6 (4)	720	6	1		ノーベル賞受賞記念対談記事「益川敏英先生－川合光先生」	
7 (12)	623	15	3	話題	EUVリソグラフィの現状とERLを用いた大強度EUV-FELの展望	河田洋
8 (17)	593	7	4	解説	放射光ビームライン	後藤俊治
9 (22)	573	5	1	解説	加速器におけるアンジュレータ(前編)	田中隆次, 備前輝彦, 北村英男
10(16)	570	13	1	話題	ECR イオン源の開発—理研での結果を中心に	中川孝秀

*()は前年の順位

** 昨年1位のダウンロード数は1743件 (2019.08.01 – 2020.07.31)

編集幹事報告(5/5)



■ 発表スライドダウンロード数 (2020.08.01 – 2021.07.31)

	DL数	年会	タイトル	主著者
1	1946	pasj2014	放射化物の管理について	梶本和義(KEK)
2	1146	pasj10(2013)	加速器における電子管技術(2)	福田 茂樹(KEK)
3	925	pasj10(2013)	加速器における電子管技術(1)	福田 茂樹(KEK)
4	641	pasj2019	Neural Network Consoleと組込ボードSPRESENSEではじめるDeep Learningの活用	小林 由幸 (ソニー株式会社)
5	554	pasj2016	無人ヘリコプターによる光波測距儀の気象補正の高精度化	三島 研二((株)パスコ)

■ Proceedingsダウンロード数 (2020.08.01 – 2021.07.31)

	DL数	年会	タイトル	主著者
1	530	Pasj6(2009)	酸化チタン(TiO ₂)に対する中赤外域波長可変レーザー(KU-FEL)照射効果の検討	T. Sonobe(京都大学)
2	427	pasj2019	自由電子レーザーで駆動する高繰り返しアト秒X線光源の開発	羽島 良一(QST)
3	389	pasj2019	キャリアエンベロップ位相安定中赤外光源の検討	川瀬 啓悟(QST)
4	388	pasj2019	超伝導スポーク空洞の電子ビーム溶接試験	沢村 勝(QST)
5	384	pasj2019	産研THz-FELにおけるEO計測の周波数解析	川瀬 啓悟(QST)
6	383	pasj2019	Genesisを用いたcERLによる中赤外自由電子レーザー光の数値解析	坂本 文人(秋田工専)
7	380	pasj2019	共振器型IR-FELパルス蓄積のための外部増幅共振器の開発と試験蓄積	住友 洋介(日大)
8	380	pasj2019	Compact ERLにおける長期ビーム運転下での主加速器部超伝導空洞性能の推移	阪井 寛志(KEK)
9	378	pasj2019	C形導波管型HOMカップラー製作の現状	沢村 勝(QST)
10	290	pasj2018	光渦を励起光源に用いた偏極電子生成の試み	真野 篤志(名大SR)

庶務幹事報告(1/5)



学会で協賛・後援・共催の会議等(1/2)

2020年開催の会議等			
会 期 等	行 事 名 称	許 可 日	種 類
3月10日(火)	兵庫県立大学ニュースバルシンポジウム ※中止	2019年10月23日	協賛
3月12日(木)-14日(土)	2019年度量子ビームサイエンスフェスタ ※中止	2019年10月15日	協賛
6月1日(月)-5日(金)	Nuclear Photonics 2020(NP2020) ※2021年6月11日に延期	2019年11月8日	協賛
6月11日(木)-12日(金)	第13回核融合エネルギー連合講演会 ※中止	2019年12月12日	協賛
7月7日(火)-9日(木)	第57回アイソトープ・放射線研究発表会 ※中止	2019年10月11日	後援
8月18日(火)-26日(水)	大学生・高専生のための素粒子・原子核スクール・サマーチャレンジ ※中止	2020年2月4日	後援
10月19日(月)-30日(金)	2020年度オンライン真空講習会 入門講座	2020年8月4日	協賛
11月2日(月)-30日(月)	2020年度オンライン真空講習会	2020年8月4日	協賛
11月9日(月)-11日(水)	日本中性子科学会 第20回年次大会(オンライン開催)	2020年7月2日 (online許可7/21)	協賛
11月15日(日)-19日(木)	The 9 th International Symposium on Surface Science ※2021年11月28日(日)~12月2日(木)に延期	2019年11月21日	協賛
11月19日(木)-21日(土)	2020年表面真空学会学術講演会(オンライン開催)	2020年7月18日	協賛
12月8日(火)-9日(水)	ビーム物理研究会・若手の会(オンライン開催)	2020年9月11日	後援

庶務幹事報告(2/5)



学会で協賛・後援・共催の会議等(2/2)

2021年開催の会議等

会期等	行事名称	許可日	種類
3月9日(火)~11日(木)	2020年度量子ビームサイエンスフェスタ（オンライン開催）	2020年11月17日	協賛
5月13日(木)	理研シンポジウム 「いよいよ見えてきた小型中性子源の現場利用と拓けてきたさらなる応用—コンクリート反射イメージングから宇宙へ—」 （オンライン開催）	2021年4月7日	協賛
7月5日(月)~8月31日(火)	第2回オンライン真空講習会入門講座	2021年6月10日	協賛
7月7日(水)~9日(金)	第58回アイソトープ・放射線研究発表会（オンライン開催）	2020年9月28日	後援
7月13日(火)~10月3日(日)	国立科学博物館企画展「加速器」	2021年5月6日	後援
7月15日(木)	第5世代重粒子線がん治療装置(量子メス)シンポジウム —量子科学技術による「がん死ゼロ健康長寿社会」の実現を目指して—（ハイブリッド開催）	2021年6月11日	後援
8月18日(火)~28日(土)	第15回大学生・高専生のための素粒子・原子核スクール・サマーチャレンジ（オンライン開催）	2021年3月29日	後援
9月6日(月)~8日(水)	日本放射化学会第64回放射化学討論会（オンライン開催）	2021年6月18日	共催
9月6日(月)~10月29日(金)	第2回真空オンライン講習会	2021年6月10日	協賛
10月19日(火)~20日(水)	ALC' 21 Online	2021年7月16日	協賛
11月3日(水)~5日(金)	2021年日本表面真空学会学術講演会（オンライン開催）	2021年8月4日	協賛
11月16日(火)~17日(水)	第18回放射線プロセスシンポジウム（オンライン開催）	2021年5月27日	協賛
12月1日(水)~3日(金)	日本中性子科学会第21回年会（オンライン開催）	2021年7月19日	協賛

庶務幹事報告(3/5)



会員数推移

調 査 日	正 会 員(名誉会員含む)	賛助会員	購読会員	購読会員(書店)
2015年3月1日	812名(うち学生47名)	54社	10社	1社
2015年7月20日	862名(うち学生53名)	56社	10社	1社
2016年3月1日	836名(うち学生48名)	56社	9社	1社
2016年7月20日	862名(うち学生53名)	57社	9社	1社
2017年3月1日	837名(うち学生40名)	56社	8社	1社
2017年7月20日	879名(うち学生37名)	58社	8社	1社
2018年3月1日	866名(うち学生36名)	60社	9社	1社
2018年7月20日	896名(うち学生45名)	60社	9社	1社
2019年3月1日	904名(うち学生42名)	60社	8社	1社
2019年7月20日	930名(うち学生54名)	62社	8社	1社
2020年3月1日	920名(うち学生54名)	63社	9社	1社
2020年7月20日	944名(うち学生66名)	64社	9社	1社
2021年3月1日	929名(うち学生60名)	64社	9社	1社
2021年4月15日	914名(うち学生61名)	65社	9社	1社
2021年7月20日	936名(うち学生65名)	67社	9社	1社

庶務幹事報告(4/5)



1. 加速器中性子連携タスクフォース

中性子科学会では、中性子施設連携WGが発足して現在まで議論が進められているが、現段階ではまだ加速器学会との直接の連携が必要とされる状況には至っていない。一方、KEK物構研を中心とした「量子ビーム連携プラットフォーム」構想において、加速器中性子源だけでなく原子炉中性子源も含めた中性子施設間連携を取ろうという話が進んでいるが予算獲得には成功していない。京都大学複合原子力科学研究所では研究用原子炉KURの代替中性子源として、2019年度に移管された陽子サイクロトロンを整備する動きがあり、岩下氏がこれに協力している。なお、新試験研究炉建設の準備が始まり、中性子科学会長のもとにロードマップ検討WGを発足させ、中性子利用の議論が集中的に進められている。(岩下、内藤)

2. 加速器学会における軍事研究規制等に関するタスクフォース

昨年度年会の特別セッション以降、2020年10月7日の第6回TF、2020年11月27日～12月15日の第2回アンケート、2021年2月2日の第7回TFを経て、2021年4月24日の評議員会で議論を行い、対応方針の試案を策定、2021年7月7日～7月26日に、この試案に対して会員のパブリックコメントを求めた。この会員のコメントをもとに8月6日開催の評議員会にて議論を深め、本学会としての対応を決定した。(浦川、栗木、黒田、仙波、松岡、幹事会)

3. 外部団体への推薦

日本学術振興会 育志賞(令和3年度募集分) → 終了

東レ科学振興会 東レ科学技術賞、東レ科学技術研究助成 (令和3年度募集分) → 募集終了・これから選考

山田科学振興財団 研究援助 → あらたに推薦依頼学会として承認された(本学会からの推薦枠は2件)

庶務幹事報告(5/5)



4. 評議員選出に関する細則の改訂

2021年8月6日の評議員会での議論により、「日本加速器学会 細則 第3章 第8条」を以下のように変更する。
(改訂理由: 現行の選挙投票と細則に多少の差異があるため)

[現行の細則]

第8条 評議員の選出は次の方法による。

1. 評議員の定数は 30名とし、うち最大5名までを企業枠とする。会長は、評議員任期 2 年目の8月31日以前に、正会員に次期評議員候補者10名以内の推薦を求め、3名以上によって推薦された者が次期評議員候補者となる。ただし候補者が 40名に満たない場合は、評議員会が不足数の候補者を推薦する。
2. 会長は、評議員任期2年目の10月31日以前に、次期評議員候補者全員の氏名、所属を正会員に通知して投票を求める。得票数の上位 30名を次期評議員とする。ただし、票数が同じ場合はくじにより決定する。

[改訂後の細則]

第8条 評議員の選出は次の方法による。

1. 評議員の定数は 30名とし、うち **25名を一般枠、5名を企業枠**とする。会長は、評議員任期 2 年目の8月31日以前に、正会員に次期評議員候補者 10名以内の推薦を求め、3名以上によって推薦された者が次期評議員候補者となる。ただし**一般枠の候補者が 35名に満たない場合、および企業枠の候補者が 7名に満たない場合**は、評議員会が不足数の候補者を推薦する。
2. 会長は、評議員任期2年目の10月31日以前に、次期評議員候補者全員の氏名、所属を正会員に通知して投票を求める。**一般枠では得票数の上位 25名、企業枠では得票数の上位 5名**を次期評議員とする。ただし、票数が同じ場合はくじにより決定する。

行事幹事報告(1/6)



行事委員

行事幹事	: 仲井浩孝 (KEK)
広報幹事	: 宮本 篤 (広報幹事/東芝エネルギーシステムズ)
年会ウェブページ担当	: 佐藤政則 (広報委員兼務、KEK)
年会ウェブページ担当	: 紀井俊輝 (広報委員兼務、京大)
アブストラクト・論文集担当	: 菊澤信宏 (広報委員兼務、JAEA)
会場・企業展示担当	: 清水洋孝 (KEK)
プログラム担当	: 黒田隆之助 (産総研)
プログラム担当	: 坂上和之 (東大)
組織委員長	: 斎藤勇一 (QST)
プログラム委員長	: 神谷富裕 (群馬大)
実行委員長	: 倉島 俊 (QST)
前行事幹事	: 西森信行 (QST)
前回組織委員長	: 中村 剛 (KEK)
前回プログラム委員長	: 大竹雄次 (JASRI)
前回実行委員長	: 増田剛正 (JASRI)
次回組織委員長	: 池田伸夫 (九州大)
次回プログラム委員長	: 諏訪田剛 (KEK)
次回実行委員長	: 若狭智嗣 (九州大)

行事幹事報告(2/6)



4月24日の第32回評議員会で、高崎市での現地開催を中止し、オンライン開催とすることに決定した。

発表申込は300件(合同セッション含む)であった。(参考:前年は297件)

合同セッション4件 (3件のテーマはプログラム委員会で決定、1件を発表申し込みから選定)

- イオンビーム照射施設TIARAにおける技術開発
- ハイパーカミオカンデとJ-PARC高性能化
- ミューオン加速器で探る未知の素粒子現象
- Compact ERLを用いた中赤外FELの開発とFEL発振

口頭発表: カテゴリーへの割当は発表申込数に比例を原則

ポスター: コアタイムを設定

国際文献社への業務委託を増やしつつある

行事幹事報告(4/6)



第19回 日本加速器学会年会 開催概要

- 共催：九州大学
- 後援：北九州市(予定)
- 会期：2022年 8 月 8日(月)～10日(水)または11日(木、祝日)
- 見学：未定
- 会場：北九州国際会議場
- 実施体制：

組織委員長 ： 池田 伸夫(九州大学)

プログラム委員長 ： 諏訪田 剛(KEK)

実行委員長 ： 若狭 智嗣(九州大学)

現地開催の準備を進めているが、新型コロナウイルスの状況によっては、オンライン開催の場合もあり得る。

行事幹事報告(5/6)



第20回 日本加速器学会年会 開催概要

- 共催： 日本大学
- 後援：
- 会期： 8 月のお盆直後あたり
- 見学： 未定
- 会場： 日本大学理工学部船橋キャンパス
- 実施体制：
 - 組織委員長 ： 早川 恭史(日本大学)
 - プログラム委員長 ： 19回プログラム委員会から推薦予定
 - 実行委員長 ： 境 武志(日本大学)

新型コロナウイルスの影響で、全く見通しが立てられない。

行事幹事報告(6/6)



第21回 日本加速器学会年会 開催概要

- 後援:
- 会期: 2024年7月29日(月)～8月4日(日)仮予約済み
- 見学: 未定
- 会場: 愛媛県県民文化会館(愛媛県松山市)
- 実施体制: 行事委員会で検討

加速器学会年会の運営について

プロシーディングス提出期限の厳守にご協力を

- 提出期限は年会前日(8月8日(日)24:00)でした。期限後に提出頂いたプロシーディングスは受け付けません。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます

会計幹事報告(1/8)

2020年度日本加速器学会決算報告

(2020年4月1日～2021年3月31日)

収入の部

(単位:円)

科 目	細 目	前期実績	当期予算案	当期実績
会費収入		8,758,000	8,616,000	8,766,000
正会員	当年度分(131件+前年度前受金698件)×6,000円、過年度分40件×6,000円	5,124,000	5,220,000	5,214,000
学生会員	当年度分(21件+前年度前受金31件)×2,000円	116,000	108,000	104,000
賛助会員	当年度分(55口+前年度前受金280口)×10,000円	3,400,000	3,200,000	3,350,000
購読会員	当年度分9口×10,000円	110,000	80,000	90,000
書店経由購読会員	当年度分1口×8,000円	8,000	8,000	8,000
事業収入		17,891,486	15,530,000	6,322,507
会誌販売収入	学会誌売上	2,200	3,000	2,200
会誌別刷収入	「加速器」Vol.17,No.1～No.4	728,615	200,000	463,707
会誌広告収入	「加速器」Vol.17,No.1～No.4	1,129,240	1,000,000	1,139,600
学術的会合収入	第17回年会	16,031,431	14,327,000	4,717,000
雑収入		81	0	74
受取利息		81	0	74
還付金		0	0	0
その他		0	0	0
収入合計		26,649,567	24,146,000	15,088,581

会計幹事報告(2/8)

支出の部

科 目	細 目	前期実績	当期予算案	当期実績
学会誌出版費		5,119,430	4,900,000	4,570,596
会誌発行費	印刷・原稿管理・校正・発送・編集	4,943,872	4,800,000	4,525,776
別刷印刷費	別刷り印刷・発送	175,558	100,000	44,820
運営費		16,986,973	14,998,000	4,474,780
学術的会合支出	第17回年会開催費	16,264,597	14,097,600	4,418,820
学会賞費	賞状用紙等	20,196	20,400	13,500
会場費	会議室使用料	61,560	80,000	42,460
旅費	各委員会旅費	640,620	800,000	0
事務業務費		4,385,899	4,417,300	3,726,554
基本業務委託費	国際文献社基本料金	3,592,019	3,630,000	3,061,329
基本以外	法人税・消費税申告	183,600	187,300	187,000
	(予算案では以下の内訳を一括して評価)	510,153	600,000	478,225
通信費	以下、内訳			
	サーバー使用料等	62,251		63,261
	封筒印刷費	122,500		110,000
備品費		0		0
事務用品費		0		0
消耗品費		0		0
運送費	宅配便等	114,106		104,827
事務局旅費	会議・打ち合わせ出席時の旅費実費	0		0
支払手数料	ドメイン使用料	8,994		9,130
振込手数料	銀行振込、年会会期以外のカード決済、受取人払時の手数料	180,702		169,007
他団体発行賞への学会推薦対応		21,600		22,000
選挙費	会長・評議員選挙	100,127	0	0
その他		173,688	340,000	130,000
年会特別講演撮影		0	100,000	0
オーラルヒストリー編纂		36,288	100,000	0
租税公課	法人税、消費税	137,400	140,000	130,000
その他		0	0	0
支出合計		26,665,990	24,655,300	12,901,930

会計幹事報告(3/8)



収支差額・剰余金

科 目	細 目	前期実績	当期予算案	当期実績
収支差額		-16,423	-509,300	2,186,651
前期繰越剰余金		6,069,264	6,052,841	6,052,841
次期繰越剰余金		6,052,841	5,543,541	8,239,492

2020年度貸借対照表

2021年3月31日現在

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
現金および預金		前受金	
三菱UFJ銀行残高	4,874,294	正会員会費(2021年度709件×8000円) (2022年度1件×8000円、1件×4000円)	5,684,000
郵便振替貯金残高	11,016,201	学生会員会費(36件×3000円)	108,000
みずほ銀行(年会用口座)残高	3,089,070	賛助会員会費(275口×12000円)	3,300,000
手持ち現金残高	0	書店購読会員会費(1口×9600円)	9,600
未収金	165,220	未払金	
前払金	767,460	国際文献社 1-3月分委託費	981,336
		国際文献社 学会誌「加速器」第17巻4号 印刷・発送費	1,589,817
		前期繰越剰余金	6,052,841
		当期収支差額	2,186,651
合計	19,912,245	合計	19,912,245

会計幹事報告(4/8)

2020年度資産負債明細

2021年3月31日現在

資 産 の 部			
科 目	金 額	細 目	金 額
現金および預金	19,912,245	三菱UFJ銀行残高	4,874,294
		郵便振替貯金残高	11,016,201
		みずほ銀行(年会用口座)残高	3,089,070
		手持ち現金残高	0
		未収金 前払金	165,220 767,460
合計	19,912,245	合計	19,912,245

負 債 の 部			
科 目	金 額	細 目	金 額
会費前受金(3月31日現在入金分)	9,101,600	正会員会費(2021年度709件×8000円) (2022年度1件×8000円、1件×4000円)	5,684,000
		学生会員会費(36件×3000円)	108,000
		賛助会員会費(275口×12000円)	3,300,000
		書店購読会員会費(1口×9600円)	9,600
未払金(3月31日現在)	2,571,153	国際文献社 1-3月分委託費	981,336
		国際文献社 学会誌「加速器」第17巻4号 印刷・発送費	1,589,817
合計	11,672,753	合計	11,672,753

剰 余 金 の 部			
科 目	金 額	細 目	金 額
前期繰越剰余金			6,052,841
当期収支差額			2,186,651
合計			8,239,492

会計幹事報告(5/8)



剰余金処分計算書

前期繰越剰余金	6,052,841
当期収支差額	2,186,651
次期繰越剰余金	8,239,492

2020年度決算監査結果

監査報告書

日本加速器学会の2020年4月1日～2021年3月31日の決算書について、監査の結果、正確かつ適正であることを認めます。

2021年5月19日

日本加速器学会

監事 大熊 春夫 (印)

監査報告書

日本加速器学会の2020年4月1日～2021年3月31日の決算書について、監査の結果、正確かつ適正であることを認めます。

2021年5月19日

日本加速器学会

監事 早川 建 (印)

会計幹事報告(6/8)

2021年度日本加速器学会予算案

(2021年4月1日～2022年3月31日)

収入の部

(単位:円)

科 目	細 目	2021年度予算(A)	2020年度実績(B)	増減高(A-B)
会費収入		11,264,600	8,766,000	2,498,600
正会員	853名 × 8,000円	6,824,000	5,214,000	1,610,000
学生会員	61名 × 3,000円	183,000	104,000	79,000
賛助会員	345口(65社) × 12,000円	4,140,000	3,350,000	790,000
購読会員	9口 × 12,000円	108,000	90,000	18,000
書店経由購読会員	1口 × 9,600円	9,600	8,000	1,600
事業収入		5,944,700	6,322,507	-377,807
会誌販売収入	学会誌売上	2,200	2,200	0
会誌別刷収入	「加速器」Vol.18,No.1～No.4	200,000	463,707	-263,707
会誌広告収入	「加速器」Vol.18,No.1～No.4	1,100,000	1,139,600	-39,600
学術的会合収入	第18回年会(リモート開催)	4,642,500	4,717,000	-74,500
雑収入		0	74	-74
受取利息		0	74	-74
その他		0	0	0
その他		0	0	0
その他		0	0	0
収入合計		17,209,300	15,088,581	2,120,719

会計幹事報告(7/8)

支出の部

科 目	細 目	2021年度予算(A)	2020年度実績(B)	増減高(A-B)
学会誌出版費		4,650,000	4,570,596	79,404
会誌発行費	印刷・原稿管理・校正・発送	4,600,000	4,525,776	74,224
別刷印刷費	別刷り印刷・発送	50,000	44,820	5,180
運営費		5,203,810	4,474,780	729,030
学術的会合支出	第18回年会開催費(リモート開催)	4,744,810	4,418,820	325,990
学会賞費	賞状用紙等	14,000	13,500	500
会場費	会議室使用料	45,000	42,460	2,540
旅費	各委員会旅費	400,000	0	400,000
事務業務費		4,077,000	3,726,554	350,446
基本業務委託費	国際文献社基本料金	3,280,000	3,061,329	218,671
基本以外	法人税・消費税申告(税理士、国際文献社) (予算案では以下の内訳を一括して評価)	187,000	187,000	0
通信費	サーバー使用料等 封筒印刷費	500,000	478,225	21,775
備品費			以下、内訳	
事務用品費			63,261	
消耗品費			110,000	
運送費			0	
事務局旅費			0	
支払手数料			0	
振込手数料			104,827	
他団体発行賞への学会推薦対応			0	
銀行振込、年会会期以外のカード決済、受取人払時の手数料			9,130	
選挙費	会長・評議員選挙	110,000	169,007	22,000
その他		853,500	130,000	723,500
年会特別講演撮影	撮影、編集、公開	100,000	0	100,000
オーラルヒストリー編纂	聞き取り書き起こし、出張費	100,000	0	100,000
J-STAGE登録費	過去の学会誌の登録費(Vol.15.2~17.4)	423,500	0	423,500
英文校閲	Accelerator and Medical Physics誌	100,000	0	100,000
租税	法人税、消費税(2020年度分)	130,000	130,000	0
その他		0	0	0
支出合計		14,784,310	12,901,930	1,882,380

会計幹事報告(8/8)



収支差額・剰余金

科 目	細 目	2021年度予算(A)	2020年度実績(B)	増減高(A-B)
収支差額		2,424,990	2,186,651	238,339
前期繰越剰余金		8,239,492	6,052,841	2,186,651
次期繰越剰余金		10,664,482	8,239,492	2,424,990

学会の健全な運営・発展には、会員、賛助会員、広告、
企業展示などをさらに増やしていく必要があります。
引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。

(補足)オンライン開催に際しての税務申告について

毎年の年会で行っている企業展示は、法人税法施行令第5条で規定されている34の収益事業のうち「席貸業」にあたるとして、税務申告をおこなっている。

2020年の年会では、オンラインの企業展示であったため、これに対する法人税の扱いについて、顧問税理士、国際文献社会計担当から意見を伺い、以下の扱いとすることとした。オンライン企業展示は、「企業から委託を受けて、オンライン会議室の設定、会議室情報の告知、入室者の募集、入室の認証等の業を請け負った」とみなされることから、収益事業のうち「請負業」に相当する。

したがって、従来の企業展示と同様に税務申告の対象とする。